

プレスリリース

高純度次亜塩素酸水生成パウダーの道内自治体への寄贈について

このたび、札幌の次亜塩素酸水製造メーカー（株）ESI（菊地匡彦社長）と正規特約代理店（株）あかりみらい（越智文雄社長）は除菌剤不足に悩む北海道民のために、1市町村に1個の「高純度次亜塩素酸水生成パウダー クリアランスα」を寄贈します。

この高純度次亜塩素酸水生成パウダーは、高純度のパウダーに精製したことで従来の次亜塩素酸水の課題であった長期保管の問題を解決し、25ppmに希釈した場合660リットル、500ccボトル1,320本分という大量の次亜塩素酸水を生成できます。

3月26日には（株）ESIが3月26日に沼田町で公開実験を行い、掌サイズのパウダー50gで500ccのスプレーボトル1500本の「次亜塩素酸水」を作りました。この製品を開発した（株）ESIは沼田町全世帯に行き渡るよう町に寄贈し、町はこのボトルを使い切った町民には役場前に据えるタンクの蛇口から「次亜塩素酸水」を補充してもらう方法を検討しています。沼田町は50gのパウダー1個で日本一除菌液の普及した町になりました。公開実験の様子は <http://akarimirai.com/jiaensosansui.html>

■北海道を世界でもっとも除菌された地に

いま全国的に除菌液が不足しています。厚労省はアルコールがなくなった国民に「次亜塩素酸ナトリウム」を希釈して使うよう勧めており、店頭からは漂白剤もカビ取り剤も無くなってしまいました。

そのような中で、今年2月に北海道の環境メーカー（株）ESIが人体に無害な「次亜塩素酸水」を大量生成できる高純度パウダーを開発しました。

いま札幌のメーカー（株）ESIと正規特約代理店（株）あかりみらいはこのパウダーを全道に知ってもらうことで、安くふんだんに除菌液を使えることにより「北海道を世界一除菌対策の進んだ地域にしよう」と呼び掛けています。

人口3千～5千人の町村で数万円程度、人口数万人の町でも数十万円程度の費用で市民全戸に安全な除菌液を配布できます。備蓄できるので避難所での集団感染予防にも活用できます。

寄贈については政府や大企業ではないので限界がありますが、北海道内のこの趣旨に賛同する市町村に1個（25ppm 500cc ボトル 1320本分相当）の生成パウダーを寄贈します。除菌剤もマスクもなく不安に思っている町村民・市民に「次亜塩素酸水」を行き渡らせてあげてください。

北海道内自治体への「高純度次亜塩素酸水生成パウダー クリアランスα」寄贈についてのお問合せは（株）あかりみらい 011-876-0820 へ。

詳しくは検索⇒「あかりみらい 次亜塩素酸水」をご覧ください。

